

平成23年度 食品中異物検査(昆虫類)のまとめ

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受け、昆虫類を中心に食品に混入した異物について検査を行っています。平成23年度の食品中異物検査実績は、7検体でした。

依頼された7検体のうち、昆虫類は4検体(チョウ目2検体、ハチ目1検体、ゴキブリ目1検体)で、その他の節足動物2検体、材料の一部1検体でした。今回は、同定結果の詳細を報告します。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
アイスコーヒーに虫が混入していた。		チョウ目(ガ類)の一種	ガ類の幼虫は農作物、果実、樹木などの害虫で、極めて多食性のものが多い。成虫は灯火に飛来することが多い。
	成虫、褐色、約7~8mm		
ブリの切り身に幼虫が付着していた。		チョウ目(ガ類)の一種	同上
	幼虫、淡褐色、約5mm		
清涼飲料水に虫が混入していた。		アメイロアリ属の一種 (ハチ目)	アメイロアリ属は、枯枝、腐倒木、腐切株、土中に営巣し、樹上や草上、また落葉層で活動する。花蜜などを餌とする。
	働きアリ、茶褐色、約1.5mm		
精肉に虫が付着していた。		チャバネゴキブリ (ゴキブリ目)	ゴキブリ目の中で、世界各地に分布する代表的な屋内性種。ビル、飲食店、病院、事務所など特に冬季に室温が低下しない場所での発生が多い。休眠せず、20℃以上の環境では、いろいろな発育段階のものがみられる。
	成虫、茶褐色、約12mm		

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
給食のじゃこご飯に異物が混入していた。	 <p data-bbox="427 495 783 533">幼体、乳白～灰色、約14mm</p>	等脚目(ウオノエ科)の一種 (その他の節足動物)	ウオノエ科の多くは海水産。魚類寄生性で、ひれ、口腔、えらに付着する。
給食のちりめんじゃこ入り海草サラダに異物が混入していた。	 <p data-bbox="459 831 730 869">幼体、灰色、約10mm</p>	等脚目(ウオノエ科)の一種 (その他の節足動物)	同上
皿うどんを食べていたところ、キャベツに昆虫の脚のようなものが付着していた。	 <p data-bbox="480 1167 703 1205">茶褐色、約24mm</p>	材料の一部	昆虫類の脚特有の節や毛などはみられず、繊維質状であった。材料(野菜類)の一部と思われた。

【 検査研究課 医動物担当 】